

株式会社 アサツー ディ・ケイ

証券コード:9747

第58期 中間報告書

平成 24 年 1 月 1 日 ▶ 平成 24 年 6 月 30 日



ADK



長沼 孝一郎

代表取締役 取締役会議長

清水 興二

代表取締役 取締役社長

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、当社第58期事業年度第2四半期累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）を終了いたしましたので、ご報告申し上げます。

当期間におけるわが国の経済は、期初より震災復興需要や自動車の需要刺激策を背景に緩やかな回復基調にありました。しかし中盤に入ると、欧州の財政・金融債務危機の再燃や新興国における景気の減速などといった海外経済の影響を受け、生産や輸出の停滞がみられました。その後、震災復興需要や個人消費が増加したことにより、景気持ち直しの兆しもみられました。なお、今後につきましては、海外経済の減速や、円高、国内における電力不足、政策効果の剥落による個人消費へのマイナス影響などの不安材料も数多く存在し、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましては、生活者のメディア接触行動や購買行動、それらに伴う広告主のニーズの変化を的確に捉えた上で、マスメディア、インターネットやモバイルといったマス・パーソナル・メディア、インスタ・メディアを含むOOH（アウト・オブ・ホーム）メディアなど生活者

の購買接点周辺のメディアを組み合わせることにより、広告主のコミュニケーション投資が最大の効果を生む広告投資効果（ROI）に重点を置いたコミュニケーション・プログラムの提供に注力いたしました。成長領域である新興国市場や中国市場におけるコンテンツ事業につきましても積極的なビジネス展開を行いました。以上の結果、当社グループ全体の当第2四半期連結累計期間における売上高は1,797億9千1百万円（前年同期比8.5%増）、売上総利益は243億3千6百万円（前年同期比10.1%増）、営業利益は27億2千2百万円（前年同期比97.9%増）でありました。これに受取配当金8億9千万円などを計上した結果、経常利益は39億7千8百万円（前年同期比58.0%増）でありました。また、税金等調整前四半期純利益は28億6千6百万円（前年同期比51.4%増）、四半期純利益は17億7千4百万円（前年同期比102.6%増）となり、売上・利益ともに前年同期を大きく上回りました。

なお、グループの中核である当社単体の業績につきましては、売上高は1,566億6千万円（前年同期比7.6%増）、売上総利益は175億6千8百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は18億3千1百万

円(前年同期比96.9%増)でありました。増収のほか、収益性の向上に努めたことに加え、人件費も減少したことにより、売上、売上総利益および営業利益のいずれも前年同期を上回る結果となりました。

私たち役職員一同は、今後とも更なる成長を実現させるべく、創業以来の「全員経営」の理念のもと、これまで以上に企業体質の強化を進めていく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年9月

第58期事業年度につきましては、平成24年8月10日開催の取締役会において中間基準日にかかる配当を1株につき10円とし、9月10日を支払開始日とすることを決議いたしました。

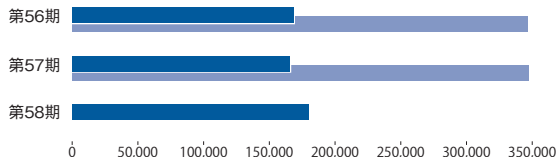
中間基準日にかかる配当について

当社は配当額の決定にあたって、年間配当総額の目安を連結当期純利益の35%とするとともに、1株当たり年間配当額の下限を20円に設定しております。中間基準日(6月30日)と期末基準日(12月31日)の割り振りとしたしましては、中間基準日にかかる配当においては安定的に10円を原則とし、期末基準日にかかる配当においては10円または年間配当性向が約35%となる額のいずれか高い額としております。

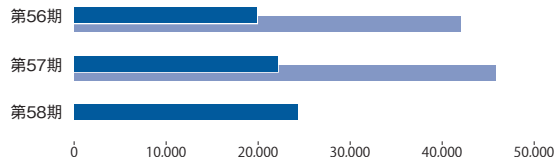
連結決算の概要

■第2四半期累計 ■通期
(単位: 百万円)

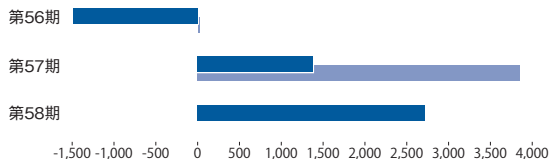
売上高



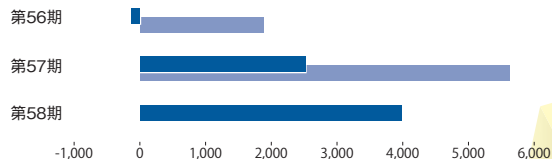
売上総利益



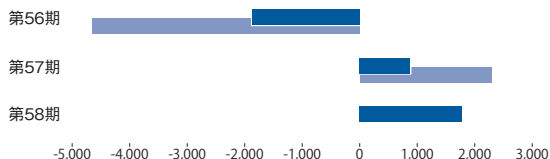
営業利益又は営業損失



経常利益又は経常損失

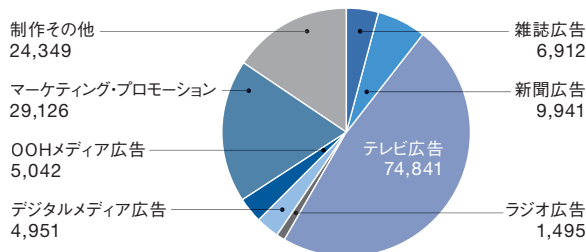


四半期(当期)純利益又は四半期(当期)純損失



区分別売上高(単体)

(単位: 百万円)



- (注) 1. 広告市場の成熟化やメディア環境の多角化に伴い、当社は広告主にクロス・コミュニケーション・プログラムを提供しており、媒体別の売上を厳密に分別することが困難な場合があります。従って、左記の区分別売上高は厳密に媒体別の売上を反映していないことがあります。
2. テレビ広告には、タイム、スポット、コンテンツが含まれます。
3. デジタルメディア広告には、インターネット、モバイル関連メディアが含まれます。(WEBサイト制作・システム開発などデジタルソリューションは「マーケティング・プロモーション」に含まれます。)
4. OOHメディア広告には、交通広告、屋外広告、折込広告などが含まれます。
5. マーケティング・プロモーションには、マーケティング、コミュニケーション・プランニング、プロモーション、イベント、PR、博覧会事業、デジタルソリューションなどが含まれます。

トピックス

被災地の本当の姿を 伝える取り組み、『南三陸から』

講談社出版文化賞「写真賞」を受賞

東日本大震災からの復興に必要なのは、断片的な事実をセンセーショナルに取りあげることではなく、被災地の本当の姿を伝える取り組みではないか。このような考えのもと、当社が企画・発行した「南三陸から 2011.3.11～2011.9.11」で、平成24年5月、著者である佐藤信一氏が第43回講談社出版文化賞「写真賞」を受賞しました。震災関連のほか、様々な分野の写真集百数十点の候補があげられるなか、自らも被災者である著者だからこそ撮り得た「よそ行きではない」人々の姿、被災地の本当の姿が高く評価され、満場一致での受賞となりました。



授賞式でスピーチする
佐藤信一氏



第2弾の刊行決定

平成24年6月、「南三陸からvol.2 2011.9.11～2012.3.11」を刊行しました。本書は、前作の続編として、様々な想いを抱えて迎えた3月11日の追悼式までを記録した写真が綴る、南三陸からのフォトレターです。10年スパンの復興に求められるのは「つづけていくこと」であり、当社は、今後も継続的に佐藤信一氏と南三陸町の方々のご協力を賜りながら、『南三陸から』の発刊を続けていく計画です。

なお、当社は、写真集一冊につき300円を、更に追加利益が発生した場合はその全額を南三陸町への支援金として寄付することとしています。



満6歳を祝う稚児行列の
衣装を着る子どもたち

震災前の南三陸町の写真を
眺める子どもたち



国民的人気コンテンツ 『ONE PIECE』の世界を 体感できるものに

朝日新聞社、集英社、東映アニメーション、森アートセンターおよびフジテレビジョンと共催で、平成24年3月20日から6月17日までの90日間、六本木ヒルズ（東京都港区）の森アートセンターギャラリーにおきまして、「尾田栄一郎監修 ONE PIECE展～原画×映像×体感のワンピース」を開催いたしました。

「週刊少年ジャンプ」（集英社）で連載中の作品『ONE PIECE（ワンピース）』は、コミックス累計発行数2億7千万部突破、当社が手掛けるテレビアニメシリーズ（毎週日曜9:30よりフジテレビ系列にて放送中）と合わせ、絶大な支持を誇る国民的人気コンテンツ。作者の尾田栄一郎氏自らが監修した初の展覧会は、作品中の名シーンを再現したフィギュアや迫力ある映像、描き下ろし原画に加え、尾田氏の仕事机も完全再現されるなど、来場者の皆様がONE PIECEの世界を存分に体感できるものとなりました。

子どもから大人まで幅広い方々にご来場いただきました本展覧会の総来場者数は513,136人に達し、森アートセンターギャラリーの歴代来場者記録1位を塗りかえるなど、大好評の展覧会となりました。

尾田 栄一郎 監修 ONE PIECE 展 原画×映像×体感のワンピース

©尾田栄一郎／集英社



原稿から小物にいたるまで尾田氏の仕事机を完全再現



来場者を出迎える海賊船「サウザンドサニー号」のマストと海賊旗

四半期連結貸借対照表の要旨

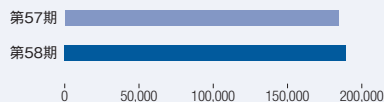
■ 第2四半期末 ■ 会計年度末
(単位: 百万円)

(単位: 百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (H.24. 6.30現在)	前連結会計年度末 (H.23.12.31現在)
〈資産の部〉		
流動資産	129,551	127,213
固定資産	59,938	56,974
有形固定資産	4,136	4,311
無形固定資産	2,247	2,437
投資その他の資産	53,554	50,225
資産合計	189,489	184,188

資産合計

資産合計は時価の上昇による投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ53億1百万円多い、1,894億8千9百万円でありました。

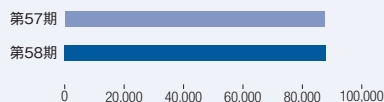


(単位: 百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (H.24. 6.30現在)	前連結会計年度末 (H.23.12.31現在)
〈負債の部〉		
流動負債	81,287	82,110
固定負債	6,703	5,277
負債合計	87,990	87,388

負債合計

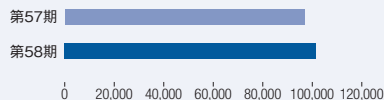
負債合計は投資有価証券の時価上昇に起因する繰延税金負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べ6億2百万円多い、879億9千万円でありました。



〈純資産の部〉		
株主資本	94,919	93,530
資本金	37,581	37,581
資本剰余金	13,244	20,023
利益剰余金	44,878	43,557
自己株式	△785	△7,632
その他の包括利益累計額	5,588	2,304
新株予約権	0	-
少数株主持分	989	965
純資産合計	101,498	96,800
負債純資産合計	189,489	184,188

純資産合計

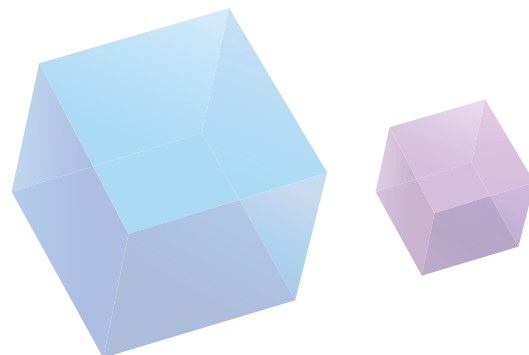
純資産合計は1,014億9千8百万円、純資産比率は53.6%でありました。なお、当期間に自己株式250万株、67億7千8百万円を消却いたしました。



四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 (H.24. 1. 1~H.24. 6.30)	前第2四半期 連結累計期間 (H.23. 1. 1~H.23. 6.30)
売上高	179,791	165,638
売上原価	155,454	143,536
売上総利益	24,336	22,101
販売費及び一般管理費	21,613	20,725
営業利益	2,722	1,376
営業外収益	1,422	1,239
営業外費用	167	97
経常利益	3,978	2,517
特別利益	120	739
特別損失	1,232	1,363
税金等調整前四半期純利益	2,866	1,893
法人税等	1,081	1,036
少数株主損益調整前四半期純利益	1,784	857
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10	△18
四半期純利益	1,774	876



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 (H.24. 1. 1~H.24. 6.30)	前第2四半期 連結累計期間 (H.23. 1. 1~H.23. 6.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,395	9,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	560	807
財務活動によるキャッシュ・フロー	△606	△593
現金及び現金同等物に係る換算差額	110	69
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,459	9,314
現金及び現金同等物の期首残高	26,519	19,127
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	34	—
連結子会社と非連結子会社の合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	48
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,013	28,490

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が29億7千4百万円減少したことなどにより、43億9千5百万円の収入超でありました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入が12億8千3百万円であったことなどにより、5億6千万円の収入超でありました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払が4億2千2百万円あったことなどにより、6億6百万円の支出超でありました。

会社の概況

平成24年6月30日現在

会社の概要

商号 株式会社アサツ ディ・ケイ
英文表記 ASATSU-DK INC.
略称 ADK
本店所在地 〒104-8172
東京都中央区築地一丁目13番1号
03-3547-2111 (代表案内)
設立 昭和31年3月19日
資本金 375億8,136万6,100円
従業員数 1,982名(単体)
ウェブサイト <http://www.adk.jp>

取締役および監査役

代表取締役(取締役会議長)	長 沼 孝 一 郎
代表取締役(取締役社長)	清 水 與 二
取締役	成 松 和 彦
取締役	植 野 伸 一
取締役	植 村 好 貴
取締役	中 里 宏
取締役	小 野 原 裕 昭
取締役	野 見 山 宏
取締役	加 藤 武
取締役	スチュアート・ニーシュ
取締役	大 林 宏
取締役	木 戸 英 晶
取締役	梅 田 望 夫
監査役(常勤)	境 芳 郎
監査役(常勤)	太 田 浩 司
監査役(常勤)	市 川 亮
監査役	吉 成 昌 之

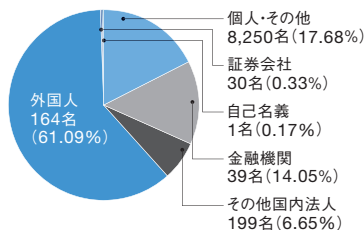
(注)1.取締役大林 宏氏、木戸英晶氏および梅田望夫氏は社外取締役であります。
2.監査役太田浩司氏、市川 亮氏および吉成昌之氏は社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数206,000,000株
発行済株式の総数42,655,400株
株主総数8,683名

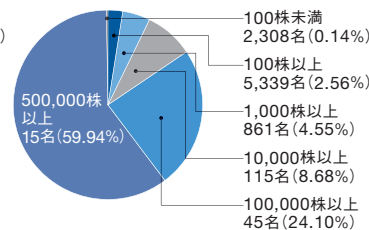
(注)発行済株式の総数には自己株式(74,761株)を含んでおります。

保有者別分布(株式数比率)



(注)株式数比率は、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

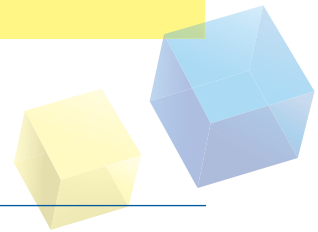
保有株式数別分布(株式数比率)



大株主の状況

株主名	保有株式数(千株)	持株比率(%)
ダブルユービー インターナショナル ホールディング ビーヴィー	10,331	24.21
ノーザントラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント	2,318	5.43
ザ シルチェスター インターナショナル インベスターズ インターナショナル バリュー エクイティートラスト	1,672	3.92
ノーザントラスト カンパニー エイブイエフシー リユーエス タックス エグゼンブテッド ペンション ファンズ	1,599	3.75
稲垣 正夫	1,279	2.99
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505225	1,063	2.49
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー 505223	988	2.31
ステート ストリート バンク アンドトラスト カンパニー	972	2.28
ジェービー モルガン チェース バンク 380055	958	2.24
メロン バンク エヌエー アズ エージェント フォー イット クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	893	2.09

(注)持株比率は、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。



営業所の状況

営業所名		所在地	営業所名		所在地	営業所名		所在地
本	社	東京 都 中央 区	北	海 道 支 社	札幌 市 中央 区	中	国 支 社	広島 市 中 区
関	西 支 社	大阪 市 北 区	東	北 支 社	仙台 市 青 葉 区	(中国支社)	愛媛 支 局	松 山 市
(関西支社)	北陸 支 局	金 沢 市	新	潟 支 社	新潟 市 中央 区	フィリピン	事務所	マ ニ ラ
中	部 支 社	名古屋 市 中 区	岡	山 支 社	岡山 市 北 区	北 京 事 務 所		北 京
九	州 支 社	福岡 市 博 多 区	(岡山支社)	高松 支 局	高 松 市	モ ス ク ワ 事 務 所		モ ス ク ワ

(注)平成24年3月31日をもって、北東北支局(岩手県盛岡市)を閉鎖し、東北支社へ統合いたしました。

連結対象会社の状況

当社グループの連結対象会社は次のとおりであります。その内訳は連結子会社が25社(無印)であり、持分法適用会社は、関連会社1社(*印)です。

広 告 業	国 内	主要な事業内容		会社名	
		広告代理および広告制作		株式会社協和企画 株式会社ADKインターナショナル 株式会社ADKダイアログ 株式会社ADKデジタル・コミュニケーションズ	
		広告制作		株式会社ADKアーツ 株式会社ボーイズ	
		アニメ制作		株式会社エイケン	
	海 外	主要な事業内容	所在地	会社名	
		広告代理および広告制作	米国	ニューヨーク	エイディケイアメリカ(ADK America Inc.)
			オランダ	アムステルダム	アサソーヨーロッパホールディング(Asatsu Europe Holding BV) [持株会社] アサソーヨーロッパ(Asatsu Europe BV)
			ドイツ	フランクフルト	アサソードイツ(Asatsu (Deutschland) GmbH)
			中国	広州	*広東旭広广告有限公司(Guangdong Guangxu (ASATSU) Advertising Co., Ltd.)
			香港		アサソー ディー・ケイホンコン(ASATSU-DK HONG KONG Ltd.) ディケイアドバタイジング(DK ADVERTISING(HK) Ltd.)
			上海		旭通世紀(上海)広告有限公司(ASATSU Century (Shanghai) Advertising Co., Ltd.) 上海旭通广告有限公司(Shanghai Asatsu Advertising Co., Ltd.)
			台湾	台北	聯旭國際股份有限公司(UNITED-ASATSU INTERNATIONAL Ltd.) 太一廣告股份有限公司(DIK-OCEAN Advertising Co., Ltd.)
			シンガポール		アサソー ディー・ケイシンガポール(ASATSU-DK SINGAPORE Pte. Ltd.)
			タイ	バンコク	エイディケイタイホールディング(ADK Thai Holding Ltd.) [持株会社] ダイイチキカクタイランド(DAI-ICHI KIKAKU (THAILAND) Co., Ltd.) アズディック(ASDIK Ltd.) アサソー タイランド(ASATSU (Thailand) Co., Ltd.)
			マレーシア	クアラルンプール	アサソー ディー・ケイマレーシア(ASATSU-DK (Malaysia) Sdn. Bhd.)
そ の 他 の 事 業		主要な事業内容	会社名		
		雑誌・書籍の出版・販売	株式会社日本文芸社 株式会社ネオ書房		

(注) 1. 前連結会計年度において非連結子会社でありました株式会社ADKデジタル・コミュニケーションズは、重要性が増したことに伴い、当連結会計年度から連結の範囲に含めております。
2. 株式会社ネオ書房は、平成24年4月27日をもって解散し、清算手続き中であります。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
1単元の株式数	100株
剰余金配当の基準日	毎年6月30日および毎年12月31日 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
定時株主総会の基準日	毎年12月31日 この他、必要があるときはあらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区大手町二丁目6番2号（日本ビル4階） 東京証券代行株式会社 なお、お取次は三井住友信託銀行株式会社全国本支店（コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く）にて行っております。
同連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎ 0120-49-7009
公告方法	電子公告（ http://www.adk.jp ） ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株式に関する手続きのご案内	①ご住所等、各種株主様情報の変更にに関する届出 ②配当金の受取方法のご指定 ③単元未満株式の買取・買増請求 以上のお手続きに関しましては、株式を一般口座（証券会社に開設されている取引口座）にてご保有の方は、取引口座のある証券会社へ、また、特別口座にてご保有の方は、上記株主名簿管理人へお問い合わせください。

詳細な財務情報、その他株主・投資家の皆様に
向けた各種情報は、当社の「投資家情報」ウェブ
サイトでご確認いただけます。

ADK IR



<http://www.adk.jp/html/ir/index.html>

